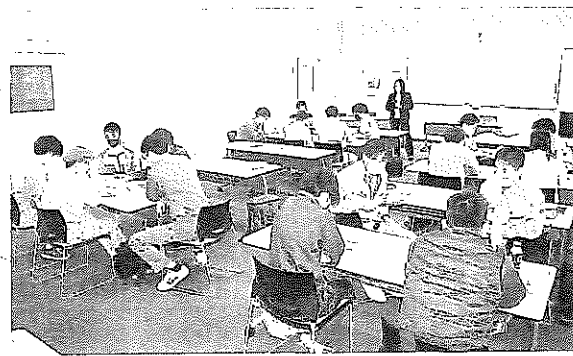


新社会人がマナーなど学ぶ 県電設協の初任者教育スタート

熊本県電設業協会（岩崎裕会長）主催の電気工事初任者教育が6日から



ポリテクセンター熊本（合志市）で始まった。会員企業に今春入社した新

社会人ら19人が、5月12日までの延べ10日間（全60時間）に渡ってビジネスマナーや電気工事の概要などを学ぶ。

協会の人材育成事業の一環で3回目。同センターに講師を要請し、電気理論、工具種類、単線図作成、電気機器接続、配線接続方法など総合実習を行う。ビジネスマナーは、社会人の心構えを身につけてもらおうと今回初めてカリキュラムに取り入れた。

6日と7日は、SOD EN（熊本市東区）の総

務担当でキャリアコンサルタントの国家資格を持つ鳥安由巳氏を講師に迎え、社会人としてのマナーを指導。アイスブレイク（自己紹介）のポイントをはじめ、グループワークなどを用いて働く意義や社会における責任、人間関係、必要なコミュニケーションスキルなどを受講者が一人ひとりが考えた。

鳥氏は「学生の時は、インプットをどれだけできたのかを評価されるが、社会ではお客様や上司が期待することへのアウトプットが重要になる。コミュニケーションで良好な人間関係を築き、自発的に行動する社会人になってほしい」とアドバイスした。